

実施前

写真-1: 2006年3月撮影



サテニ・ステーション送水ポンプ棟(改築前)屋根材、内・外装とも老朽化し、壁や建具の一部は破損していた。

実施後

写真-2: 2008年7月撮影



サテニ・ステーション送水ポンプ棟(改築後)改築された送水ポンプ棟。屋根、壁、建具等の破損箇所が修復され、外壁はペンキ塗装に仕上げられた。

写真-3: 2006年3月撮影



サテニ・ステーション送水ポンプ(既設)高架タンクへ送水していた既存のポンプ設備。4台のうち3台が故障していた。

写真-4: 2008年7月撮影



サテニ・ステーション送水ポンプ(新設)新規に設置されたポンプ設備4台。大小のポンプ各1台に、それぞれ予備機を備えている。

写真-5: 2006年3月撮影



サテニ・ステーション消毒設備(既設)設備本体の老朽化が著しく、処理(消毒)能力も不足していた。

写真-6: 2008年3月撮影



サテニ・ステーション消毒設備(新設)新規に設置された消毒設備一式。粉末塩素剤(さらし粉)を溶解し、配水池へ注入する。

写真-7: 2006年6月撮影



ウレゾ・ステーション No.1配水池 建設予定地新規の配水池は、雑木、畑などがある閑地に建設された。

写真-8: 2008年7月撮影



ウレゾ・ステーション No.1配水池(新設)新設された配水池。配水池上部の建屋には消毒設備が設置されている。

写真-9: 2006年6月撮影



ウレゾ・ステーション No.2配水池(既設)写真左側の構造物は、既存の配水池。容量不足で、十分な水量の配水が不可能であった。写真右側の閑地は新規配水池の建設予定地。

写真-10: 2008年7月撮影



ウレゾ・ステーション No.2配水池(新設)既存施設の隣地に建設された新規配水池。ここから、給水区域へ配水される。

実施前

写真-11: 2006年6月撮影



井戸 建設予定地新設される井戸は、概ねこのような雑木林の中に建設された。

実施後

写真-12: 2008年7月撮影



井戸(新設)新設の井戸設備。手前が井戸の揚水管。建屋の中には、ポンプおよび電気設備が設置されている。

その他の写真

写真-13: 2007年8月撮影



配管布設工事①現場状況市街地における配管工事は、工事案内板や交通誘導員を置き、安全対策に努めた。また、防護柵により作業スペースの安全性を確保し、施工を行った。

写真-14: 2007年8月撮影



配管布設工事②現場状況配管を埋設する箇所の掘削状況。重機(バックホウ)を使用して、作業を行う。

写真-15: 2007年8月撮影



配管布設工事③現場状況配管布設状況。管材(ダクタイル鋳鉄管)が、トラッククレーンにより搬入され、人力で接合していく。

写真-16: 2007年8月撮影



ウレゾ・ステーションNo. 1配水池建設工事①安全柵や区画テープにより、作業スペースを区分し施工を行なった。手前は、起工式に設置された記念碑で、日本の協力で実施された事業であることが記されている。

写真-17: 2007年8月撮影



ウレゾ・ステーションNo. 1配水池建設工事②配水池の建設状況。コンクリート打設、鉄筋組立、型枠設置作業が行われている。

写真-18: 2007年6月撮影



井戸建設現場井戸掘削作業中の現場状況。